

# Visual Studio 2017とDxLib のインストール手順と 実行手順

(for Windowsユーザー)

# VSインストーラーのダウンロード

Microsoft 365 Azure Office 365 Dynamics 365 SQL Windows 10 詳細

Visual Studio 製品 ダウンロード Marketplace サポート サブスクリプター アクセス Visual Studio 無償版

## Visual Studio のダウンロード

Windows macOS

Visual Studio Community 2017

学生、オープンソース、個人の開発者向けの無料でフル機能の IDE

無償ダウンロード

リリースノートとドキュメント

Visual Studio Professional 2017

小規模なチームのためのプロフェッショナル開発者用ツール、サービス、サブスクリプション特典

無料試用版

リリースノートとドキュメント

Visual Studio Enterprise 2017

あらゆる規模のチームにおいて、品質やスケールについての厳しいニーズへの対応を可能にするエンドツーエンドソリューション

無料試用版

リリースノートとドキュメント

Visual Studio Code

再規定されたコード編集機能。無料、オープンソース、どこでも実行します。

無償ダウンロード

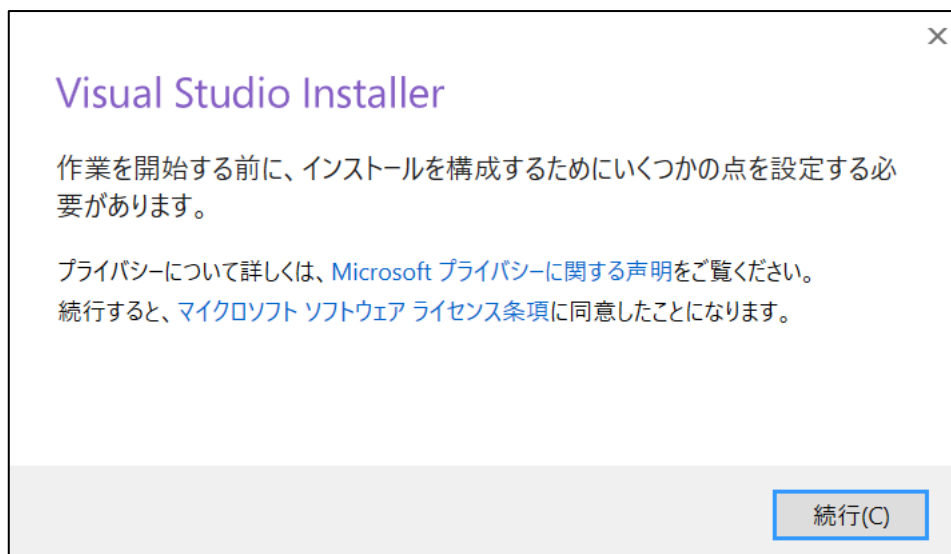
VS Code を利用することにより、そのライセンスとプライバシーに関する声明に同意したものとみなされます。

<https://www.visualstudio.com/ja/downloads/>

にアクセスし、一番左の Visual Studio Community 2017 をダウンロード

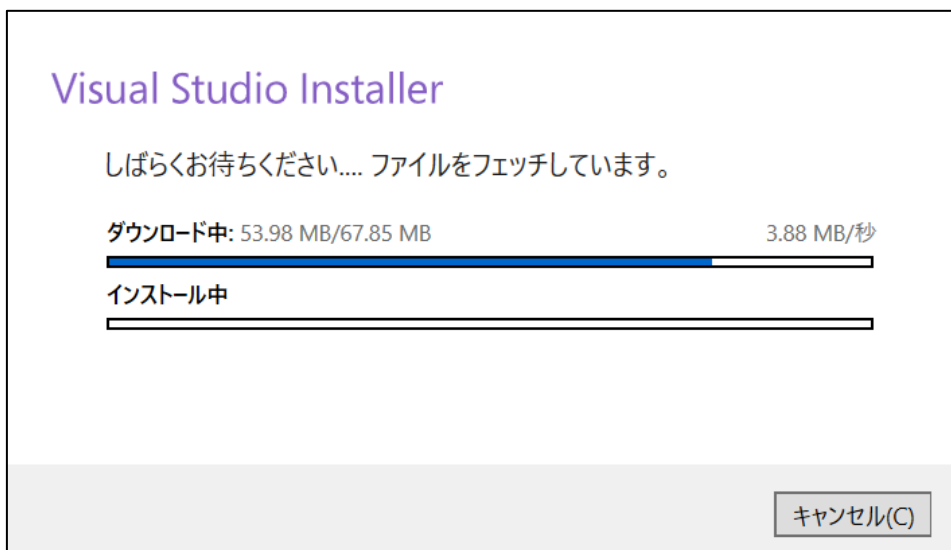
# VSインストール①

①



ダウンロードしたインストーラーファイルを開くと①のウィンドウが出てくるので、続行を押す。

②



すると、②の画面になるので、基礎部分のインストールが始まる。

# VSインストール②

The screenshot shows the Visual Studio 2017 installation wizard window titled "インストールしています - Visual Studio Community 2017 - 15.7.1". The window has a navigation bar with "ワークロード" (Workloads) selected, followed by "個別のコンポーネント" (Individual components), "言語パック" (Language packs), and "インストールの場所" (Installation location). The main area is divided into two panes. The left pane shows a list of workloads under "Windows (3)" and "Web & クラウド (7)". The "C++ によるデスクトップ開発" (Desktop development with C++) workload is selected with a blue checkmark. The right pane, titled "概要" (Summary), shows a list of components that will be installed, including the Visual C++ compiler, SDK, and various tools. At the bottom, the installation location is set to "C:\Program Files (x86)\Microsoft Visual Studio\2017\Community" and the total size is 6.56 GB. An "インストール" (Install) button is visible at the bottom right.

インストールしています - Visual Studio Community 2017 - 15.7.1

ワークロード 個別のコンポーネント 言語パック インストールの場所

Windows (3)

- ユニバーサル Windows プラットフォーム開発  
C#, VB, JavaScript、または C++ (オプション) を使ってユニバーサル Windows プラットフォームのアプリケーション...
- .NET デスクトップ開発  
C#, Visual Basic、F# を使用して、WPF、Windows フォーム、コンソール アプリケーションをビルドします。
- C++ によるデスクトップ開発  
Microsoft C++ ツールセット、ATL、MFC を使用して Windows のデスクトップ アプリケーションをビルドし...

Web & クラウド (7)

- ASP.NET と Web 開発  
ASP.NET、ASP.NET Core、HTML/JavaScript、コンテナ (Docker サポートなど) を使用して Web アプリケーションをビルドします。

場所  
C:\Program Files (x86)\Microsoft Visual Studio\2017\Community 変更...

概要

- > Visual Studio のコア エディター
- ✓ C++ によるデスクトップ開発  
含まれるアクセス許可
  - ✓ Visual C++ コア デスクトップ機能

オプション

- Just-In-Time デバッガ
- VC++ 2017 バージョン 15.7 v14.14 最新の v141 ...
- C++ のプロファイル ツール
- Windows 10 SDK (10.0.17134.0)
- CMake の Visual C++ ツール
- x86 用と x64 用の Visual C++ ATL
- Boost.Test のテストアダプター
- Test Adapter for Google Test
- Windows 8.1 SDK と UCRT SDK
- C++ に関する Windows XP サポート
- x86 用と x64 用の Visual C++ MFC
- C++/CLI サポート
- 標準ライブラリのモジュール (試験段階)
- IncrediBuild - ビルドのアクセラレーション
- デスクトップ C++ 用 Windows 10 SDK (10.0.16299.0)

必要な領域の合計サイズ: 6.56 GB

インストール

基礎部分のインストールが終わると上のような画面が出てくるので、「C++によるデスクトップ開発」を選択して、インストールボタンを押す。

# VSインストール③



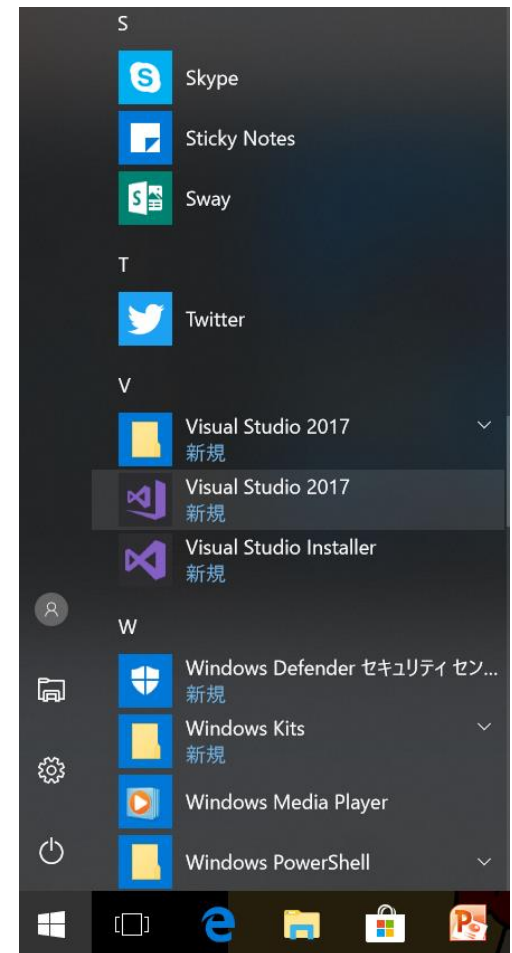
インストールは大体30分～1時間ほどかかるので注意。  
インストールが終わると、再起動を求められるので再起動する。

# VSインストール④



再起動が終わると、VisualStudioが起動し、左の画面が現れる。

もし起動しなかった場合、  
スタートからプログラムを起動する



# VSインストール⑤



マイクロソフトのアカウントの入力を求められるので、自分のアカウントを入れる。

もしアカウントを持っていない場合は作ってください。

# DxLibダウンロード

## DXライブラリのダウンロード

ここではDXライブラリのダウンロードが行えます。

ダウンロードできるファイルはzip圧縮されたファイルとなっています。

エクスプローラーなどではzipファイルのまま中身を見ることができますが、zipファイルのままでは使用できませんので必ず中身のファイルを解凍(展開)した状態でお使いください。

### DXライブラリ Windows版



[DXライブラリ Windows版 VisualStudio\( C++ \)用\(Ver3.19b\)をダウンロードする\(zip圧縮形式\(約148MB\)\)](#)

[DXライブラリ Windows版 C++ Builder 10.1 Berlin用\(Ver3.19b\)をダウンロードする\(zip圧縮形式\(約33.3MB\)\)](#)

[DXライブラリ Windows版 Borland C++ Compiler 5.5用\(Ver3.19b\)をダウンロードする\(zip圧縮形式\(約32.9MB\)\)](#)

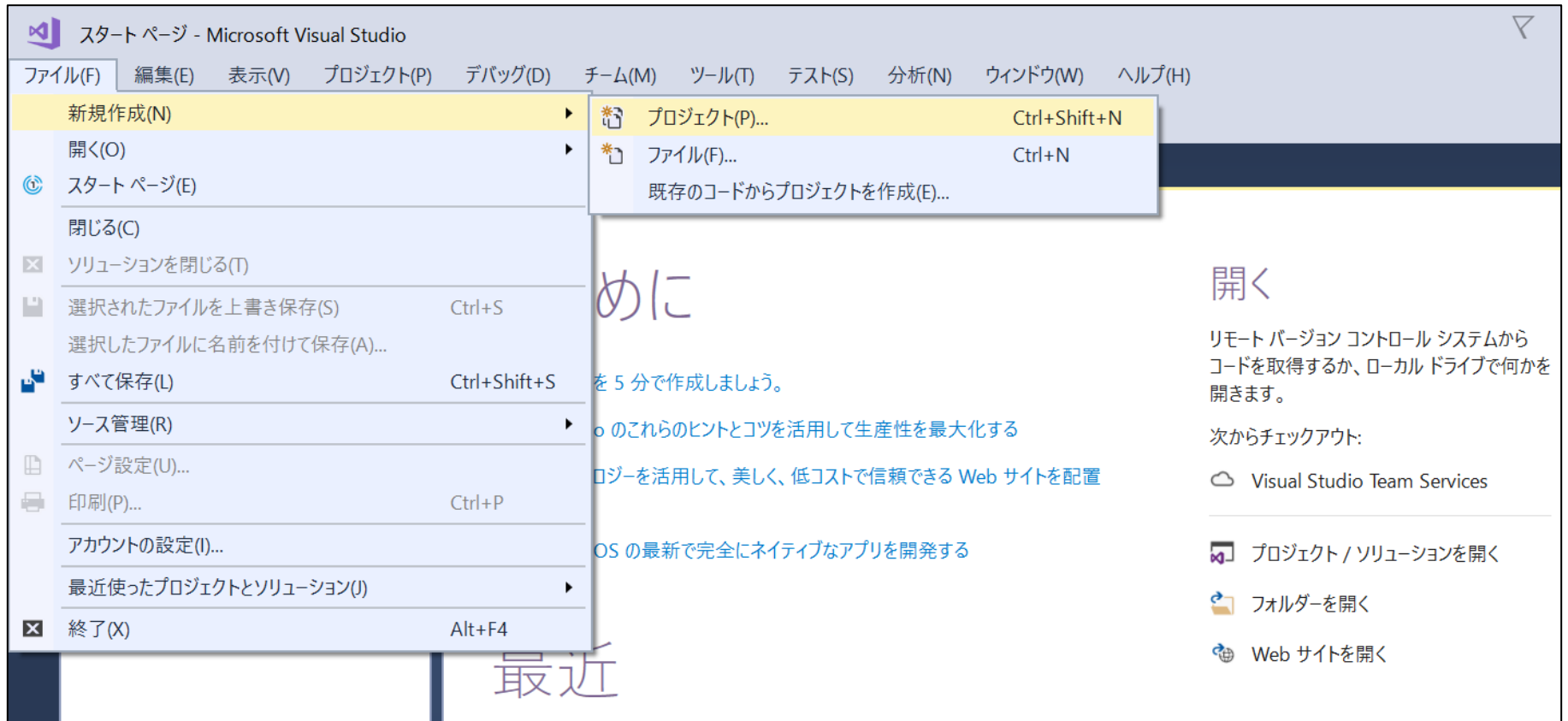
[DXライブラリ Windows版 Gnu C++\( MinGW \)用\(Ver3.19b\)をダウンロードする\(zip圧縮形式\(約72.4MB\)\)](#)

<http://dxlib.o.oo7.jp/dxdload.html>

にアクセスし、「Dxライブラリ Windows版 VisualStudio(C++)用」をダウンロードし、ダウンロードしたZipファイルを解凍する。

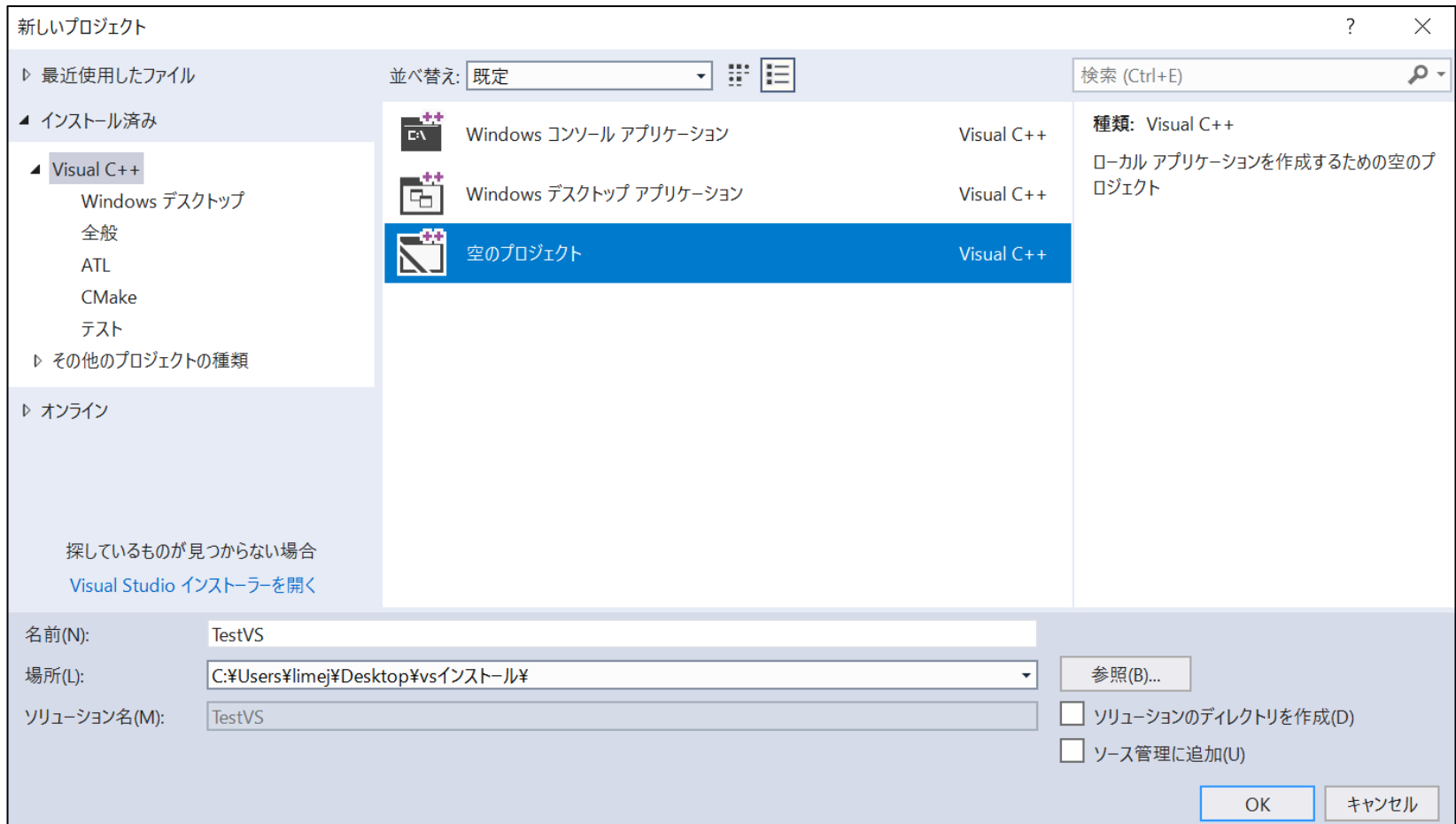


# 動作確認(プロジェクト生成)①



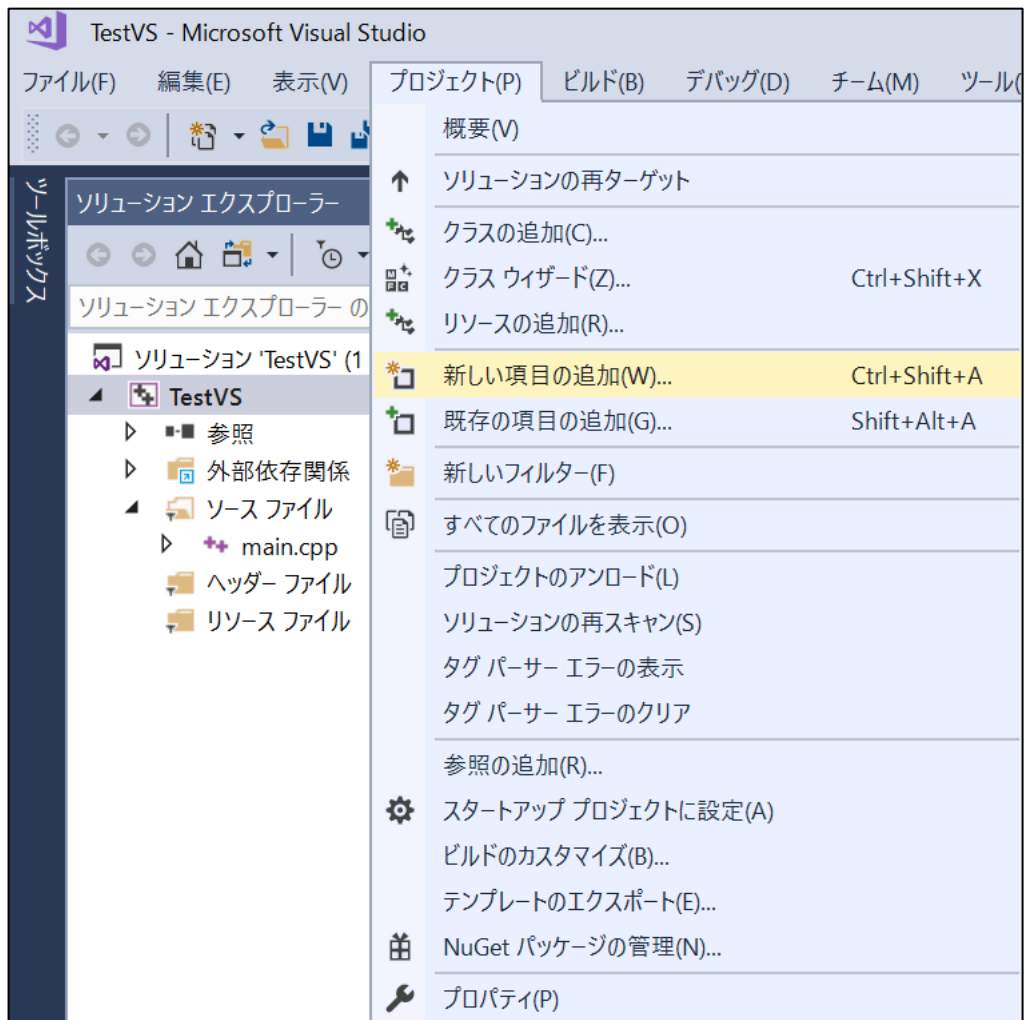
Visual Studioを起動し  
新規作成からプロジェクトを選択する

# 動作確認(プロジェクト生成)②



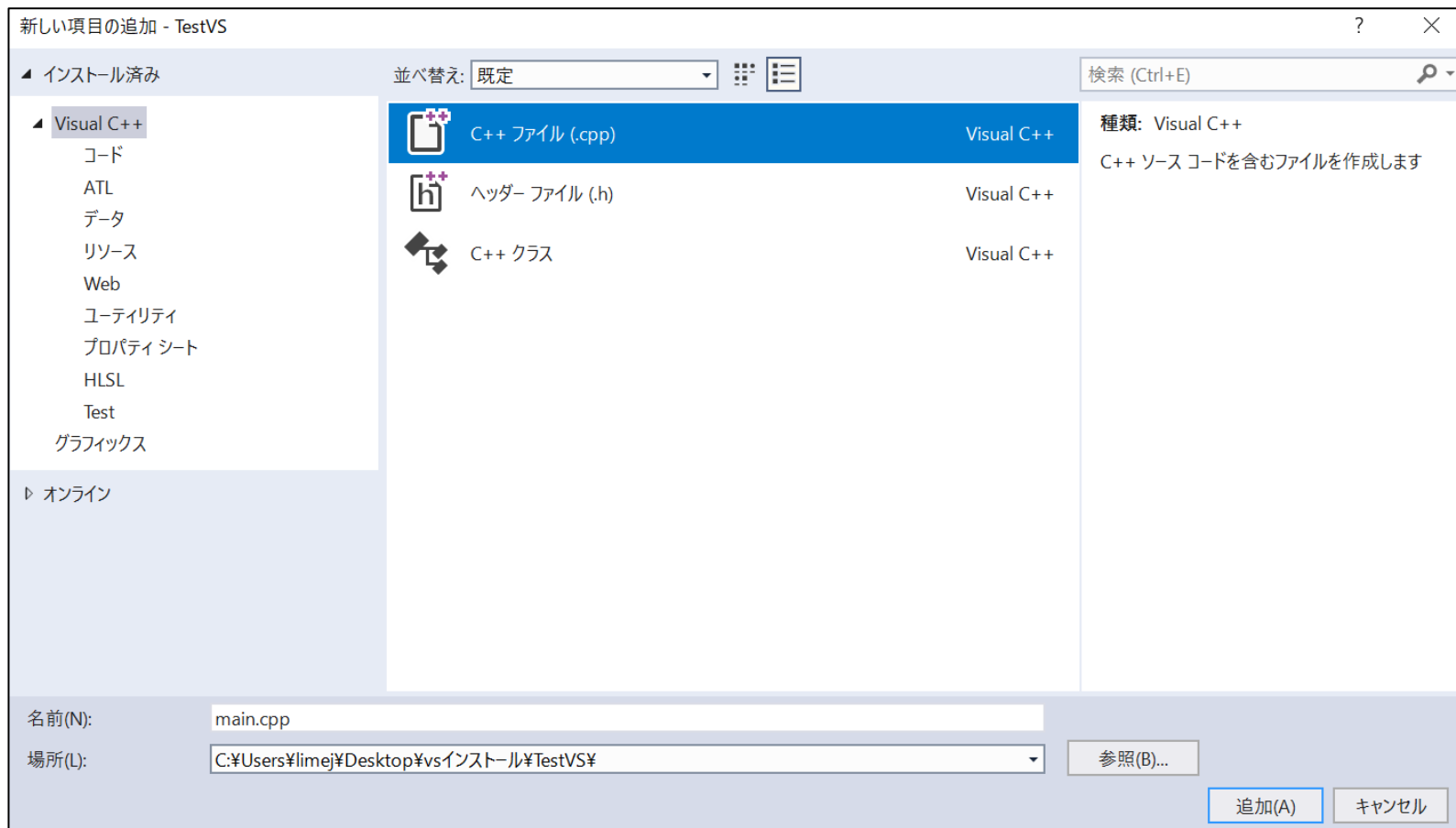
空のプロジェクトを選択  
名前と作業ディレクトリは適当に設定

# 動作確認(プロジェクト生成)③



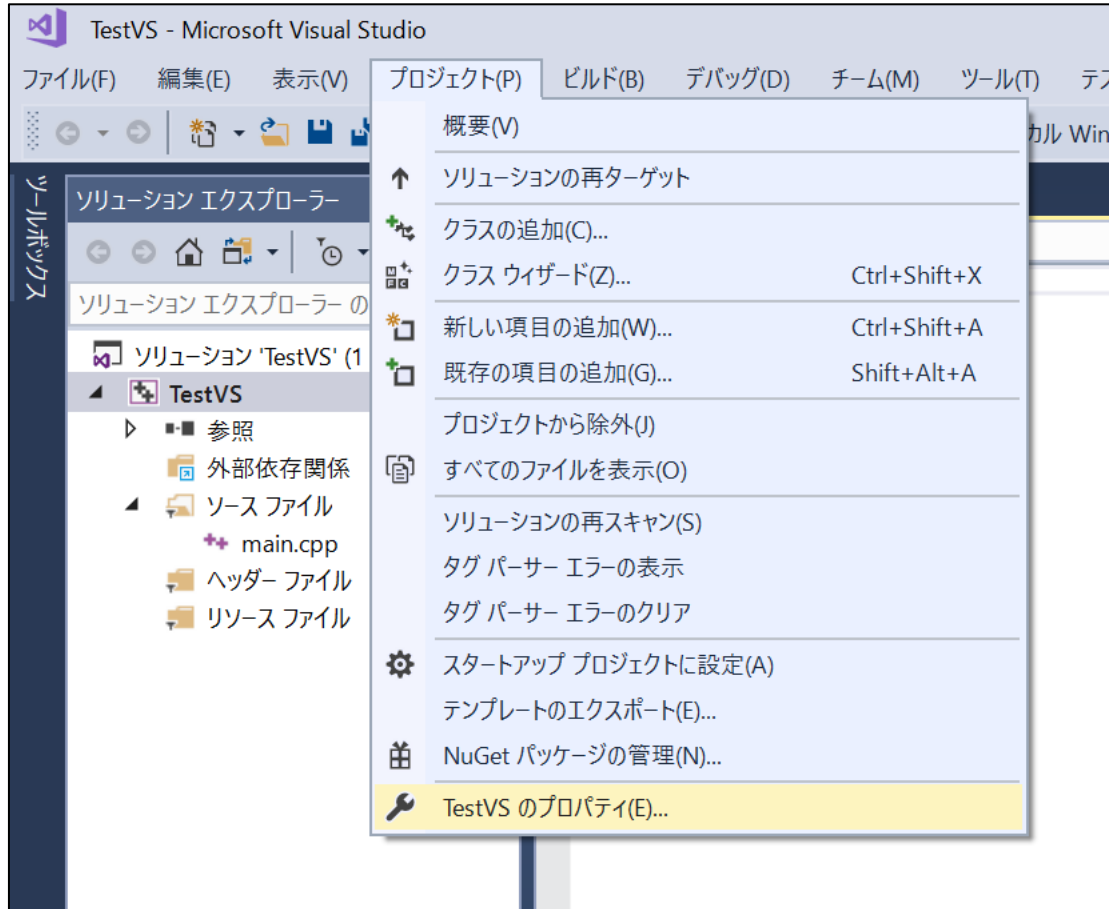
プロジェクトから新しい項目の追加を選択。

# 動作確認(プロジェクト生成)④



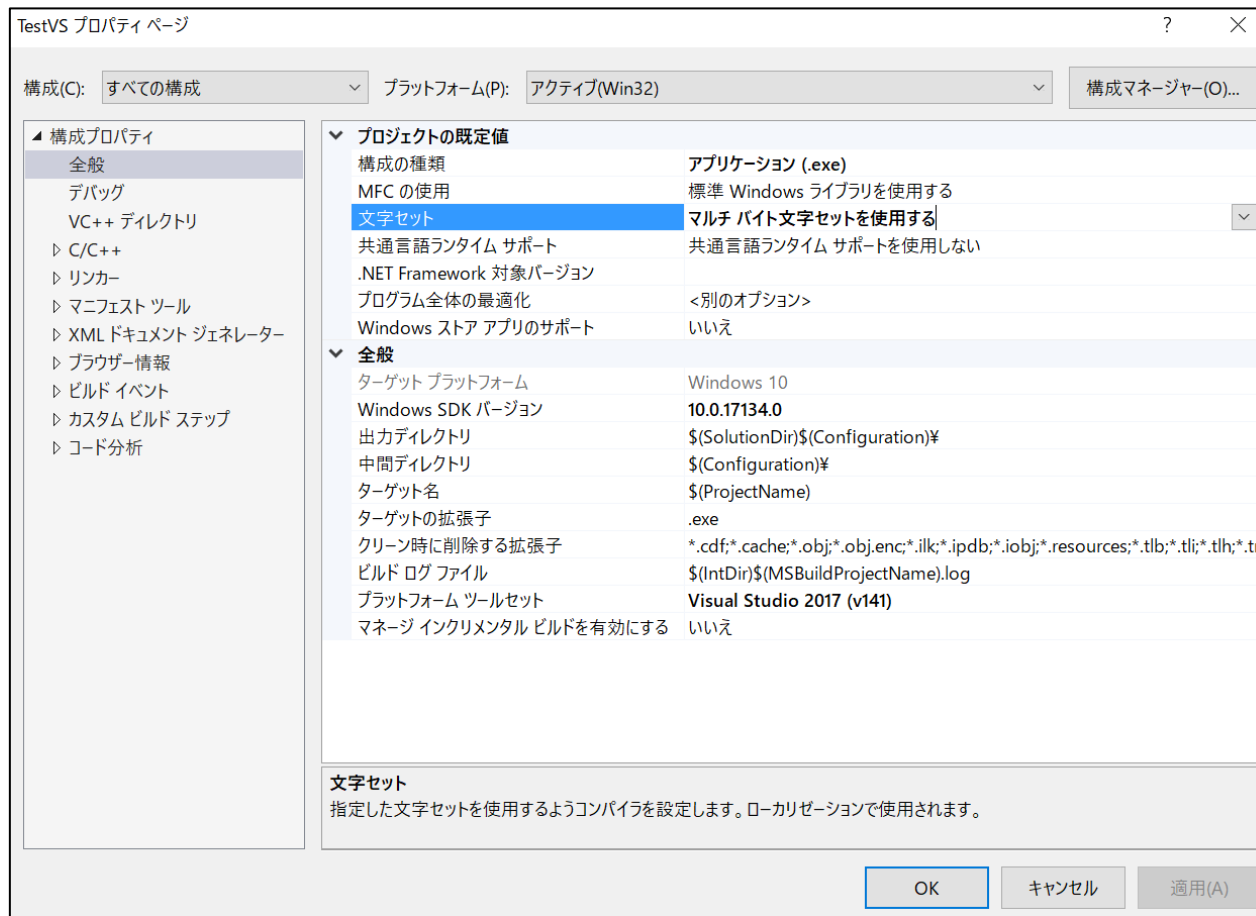
C++ファイルを選択  
ファイル名は適当に。  
場所はいじらないこと

# 動作確認(DxLibとの連動)①



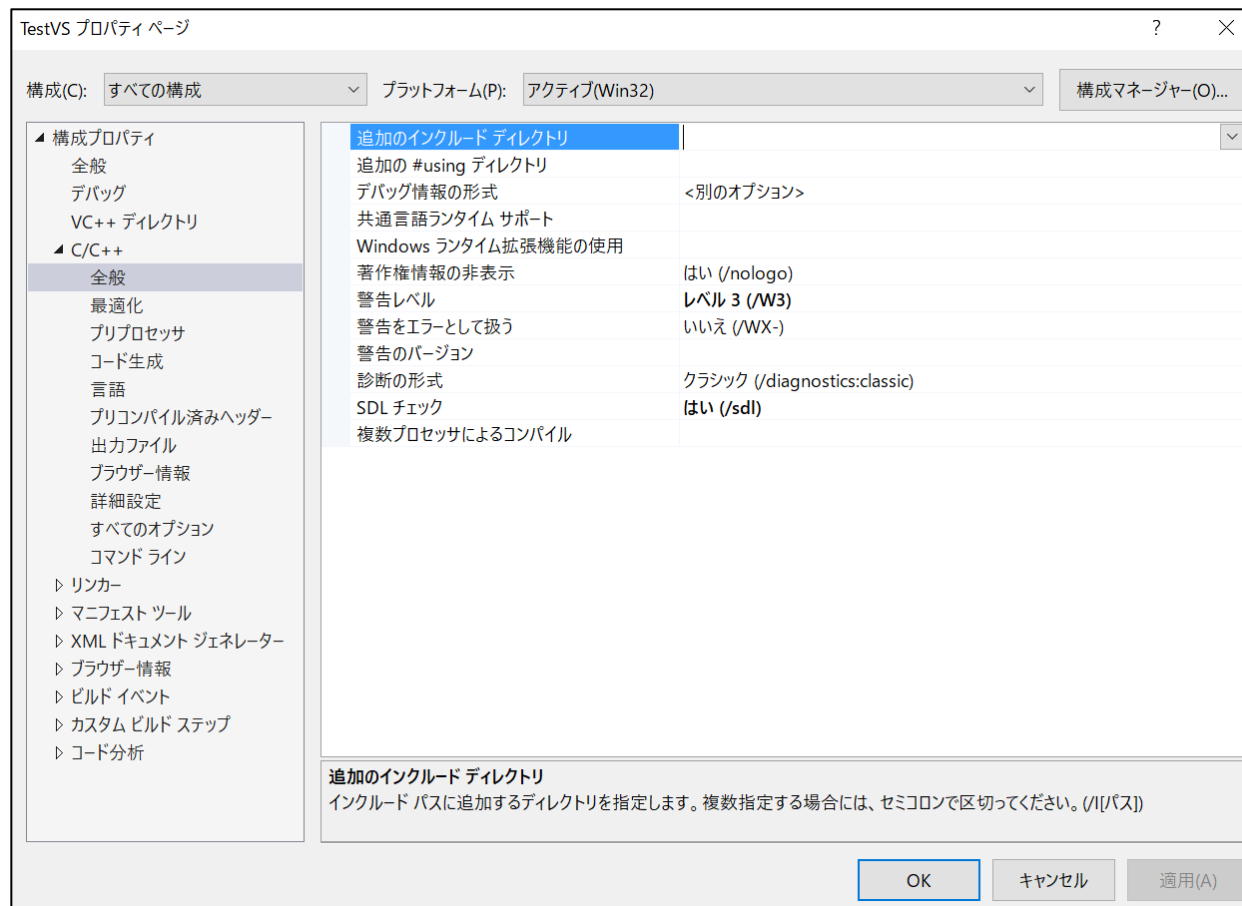
プロジェクトから、  
プロパティを選択

# 動作確認(DxLibとの連動)②



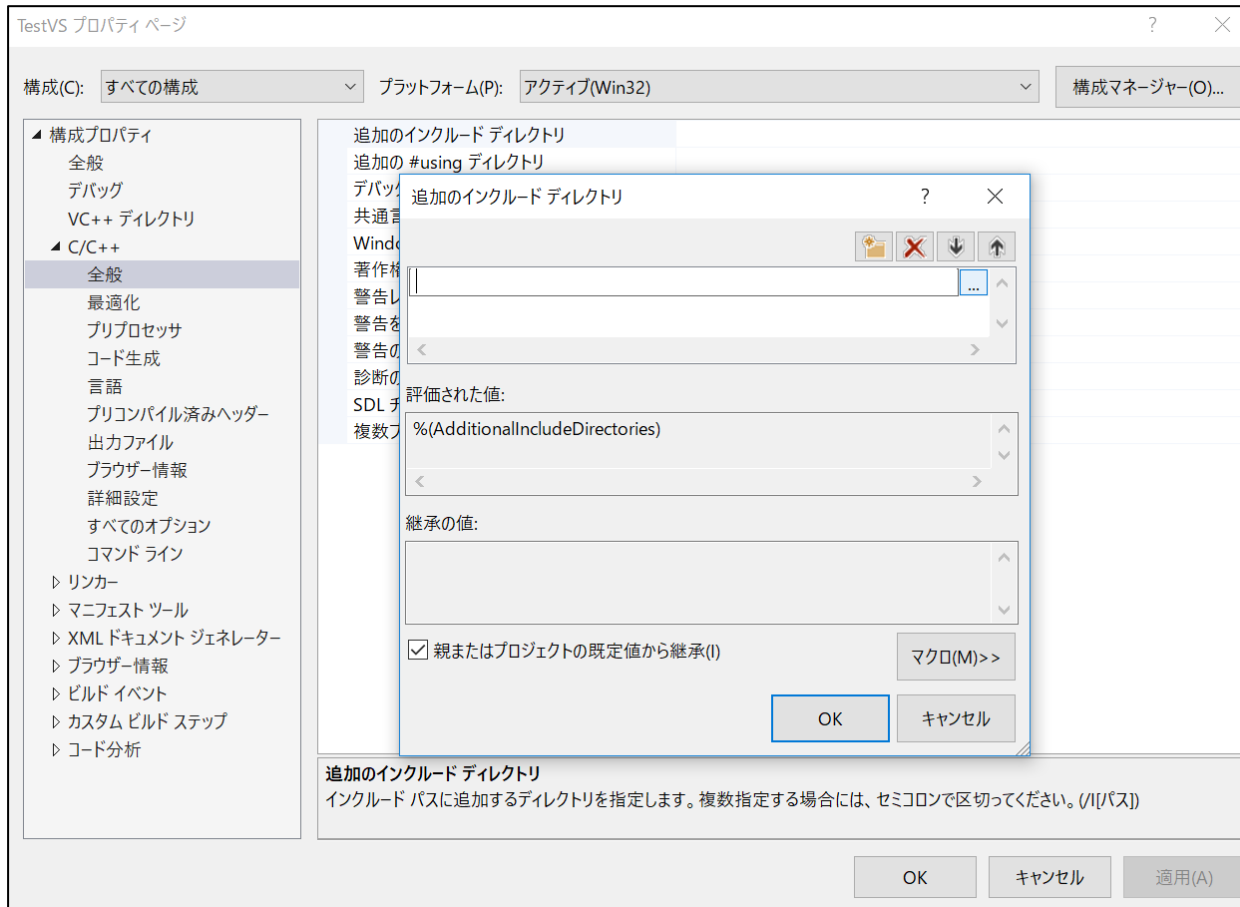
構成(C)を「すべての構成」に変更し、  
文字セットを「マルチバイト文字セットを使用する」に変更し  
右下の適用を押す(押せない場合は無視)。

# 動作確認(DxLibとの連動)③



C/C++の全般の「追加のインクルードディレクトリ」を選択  
「v」ボタンを押し、<編集>を選択

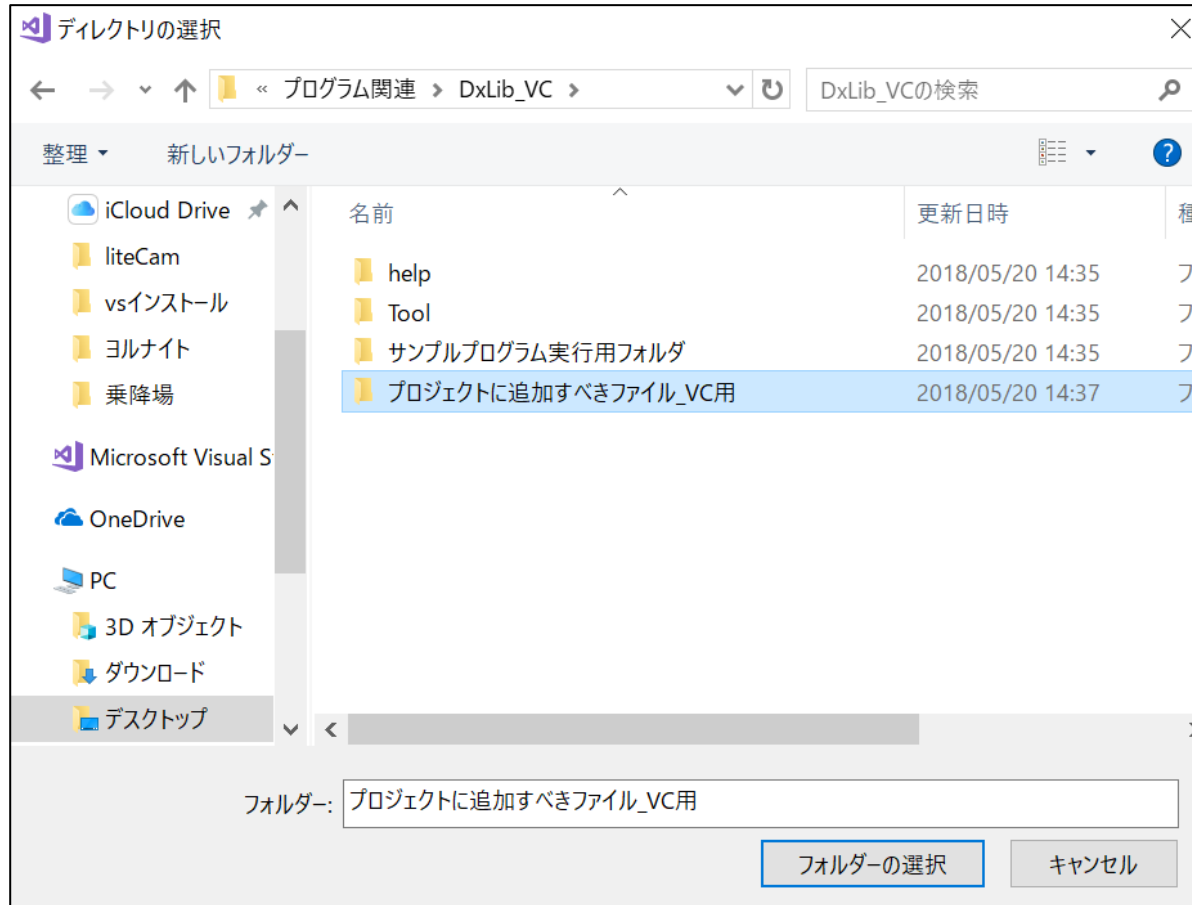
# 動作確認(DxLibとの連動)④



「...」ボタンを押す

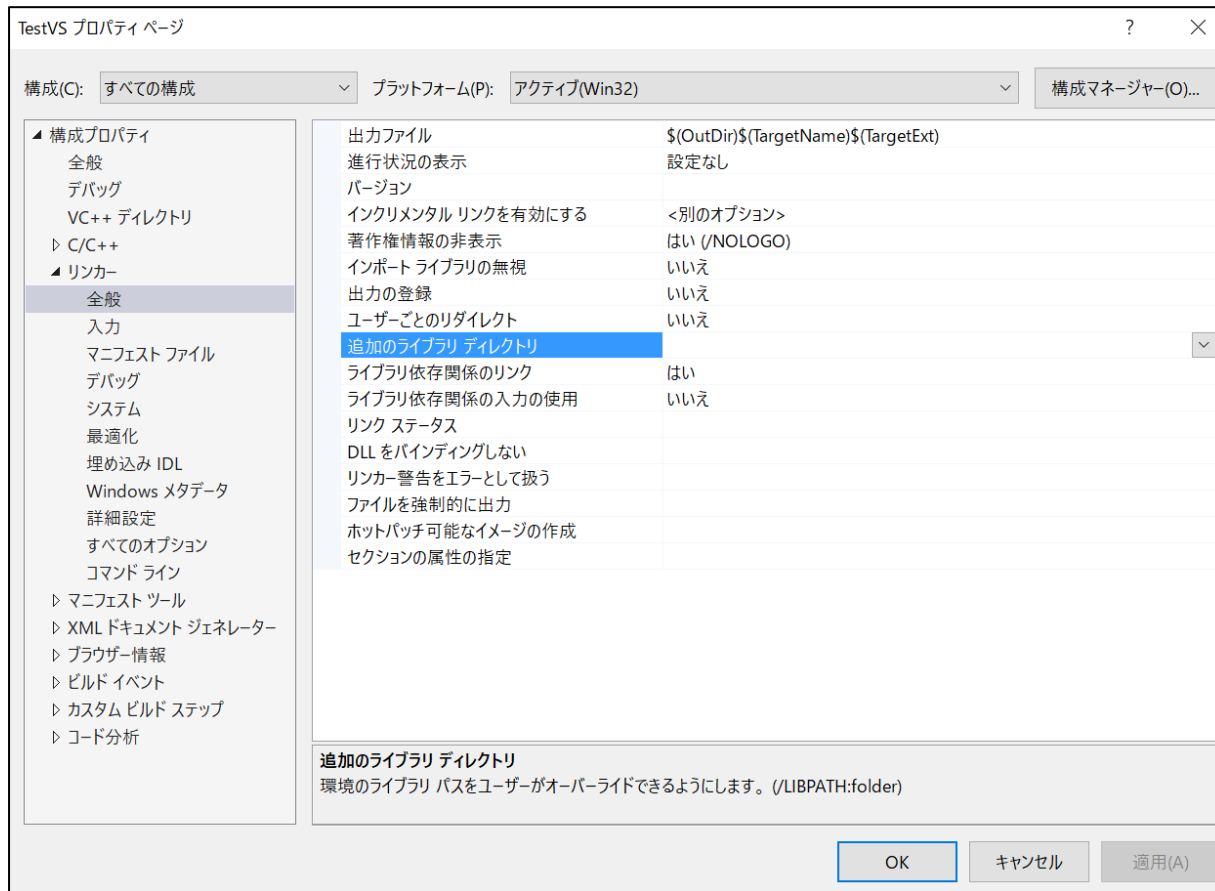


# 動作確認(DxLibとの連動)⑤



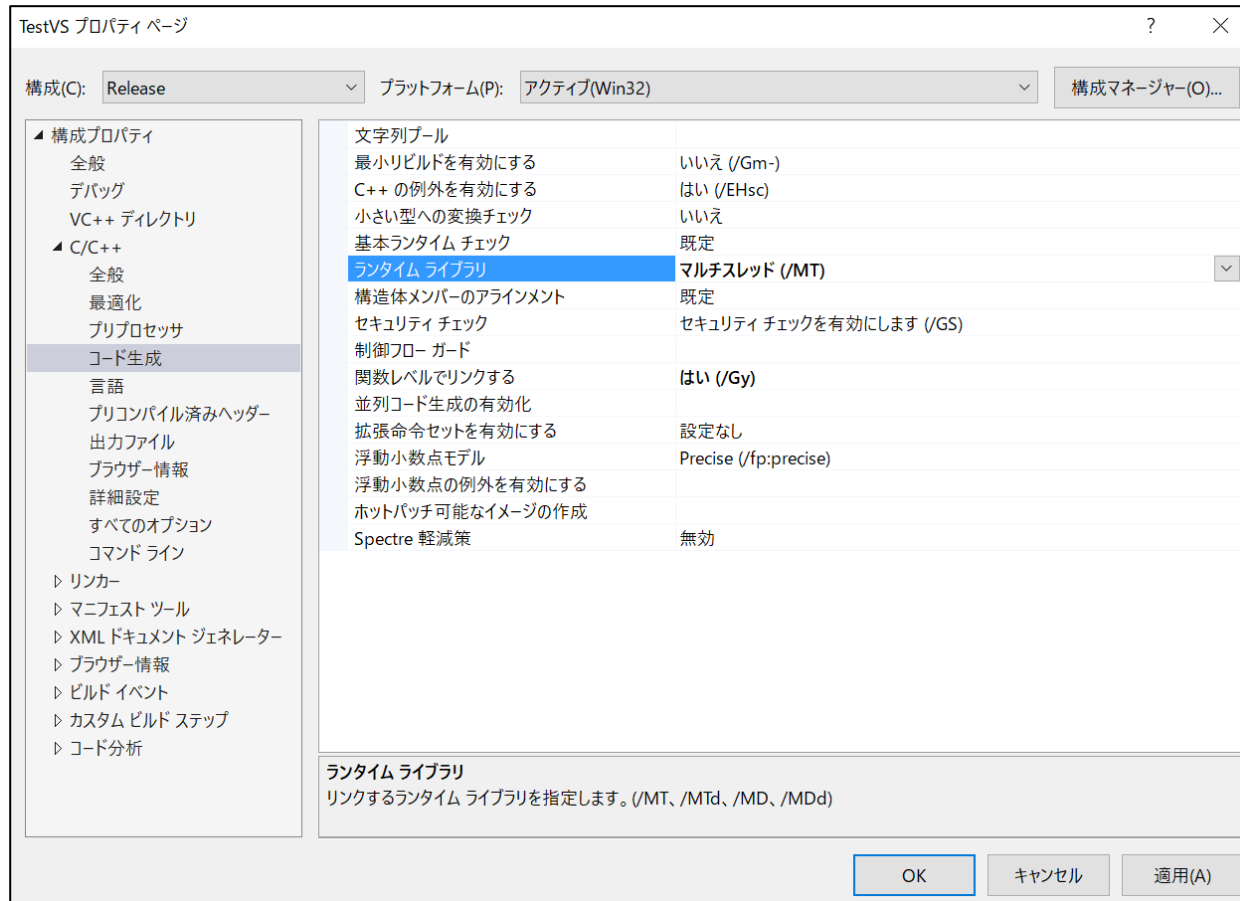
解凍したDxLibのzipファイルの中に入っているフォルダ(DxLib\_VC)の中にある「プロジェクトに追加すべきファイル\_VC用」を選択し適用を押す

# 動作確認(DxLibとの連動)⑥



リンカーの全般の「追加のライブラリディレクトリ」を選択以降、追加のインクルードディレクトリでやったことと同じことをやる

# 動作確認(DxLibとの連動)⑦

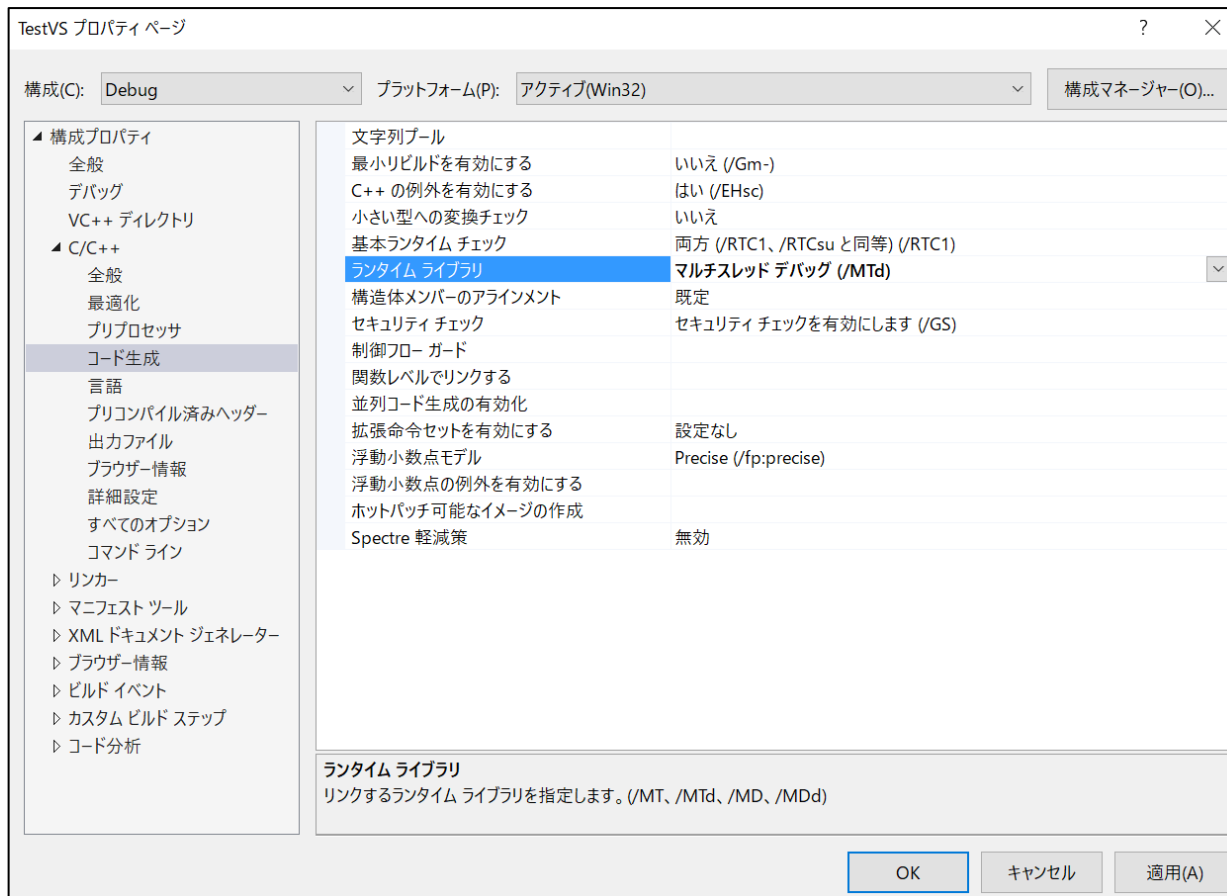


構成(C)を「Release」に変更

C/C++のコード生成のランタイムライブラリを選択し

「マルチスレッド(/MT)」に変更し適用を押す

# 動作確認(DxLibとの連動)⑧



構成(C)を「Debug」に変更

C/C++のコード生成のランタイムライブラリを選択し  
「マルチスレッド(/MTd)」に変更し右下のOKを押す

# 動作確認(実行)①

作成した.cppファイルに以下のサンプルコードを記述

```
#include "DxLib.h"
```

```
#define PI 3.1415926535897932384626433832795f
```

```
#define WINDOW_WIDTH 640
```

```
#define WINDOW_HEIGHT 480
```

```
int WINAPI WinMain(HINSTANCE hInstance, HINSTANCE hPrevInstance, LPSTR lpCmdLine,  
int nCmdShow){
```

```
ChangeWindowMode(true);
```

```
SetMainWindowText("VisualTest");
```

```
SetWindowSizeChangeEnableFlag(false);
```

```
SetGraphMode(WINDOW_WIDTH, WINDOW_HEIGHT, 16);
```

```
SetWindowSizeExtendRate(1);
```

```
if (DxLib_Init() == -1)
```

```
return -1;
```

# 動作確認(実行)②

```
SetOutApplicationLogValidFlag(false);  
SetDrawScreen(DX_SCREEN_BACK);  
ChangeFontType(DX_FONTTYPE_ANTIALIASING_4X4);  
SetFontSize(30);
```

```
int t0;
```

```
while (ProcessMessage() == 0 && CheckHitKey(KEY_INPUT_ESCAPE) == 0) {  
t0 = GetNowCount();  
ClearDrawScreen();
```

```
DrawFormatString(60, 200, GetColor(255, 255, 255), "Hello Visual Studio %d and DxLib", 2017);
```

```
while ((GetNowCount() - t0) <= (1000 / 60));  
ScreenFlip();  
}
```

```
DxLib_End();
```

```
return 0;  
}
```

# 動作確認(実行)③

記述が終わったら、Ctrl + F5キーもしくは、デバッグ(D)の「デバッグ無しで実行」を選択。

ビルドしますかと尋ねられたら「はい」を押す

下のようなウィンドウが出てきたら成功

